

本部広報2013-036

2013年9月27日

日暮れが早くなる秋、早めのヘッドライト点灯を

JAF（一般社団法人日本自動車連盟 会長 小栗七生）は、日暮れが早くなるこれからの季節は、ヘッドライトを早めに点灯するようクルマのドライバーに呼びかけています。

薄暮時はものが見えにくくなり、見落としを原因とする交通事故が多発する時間帯です。また、自分からは見えていたとしても、周りからは見えていない、という認識の「ずれ」も起こりやすいため、ヘッドライトを点灯して自分の存在を知らせることが事故防止に有効となります。車幅灯だけでは十分ではありませんので、ヘッドライトを点灯することをお勧めします。

最近のクルマに装備されることが多くなった、周囲が暗くなると自動的にヘッドライトが点灯する「オートライト」機能の活用もお勧めです。ただし、オートライトの点灯タイミングは車種によって異なることが、JAFで実施したユーザーテストで判明しており（参考動画参照）、クルマ任せにするのは禁物です。少しでも薄暗くなったと感じたら、積極的にヘッドライトを点灯するように心がけましょう。

■参考動画 オートライト車種別点灯時間差検証

http://ch.jafevent.jp/detail.php?id=182_0_95696



薄暮時（イメージ）



検証動画

このニュースリリースへのお問い合わせは、

JAF交通環境部 電話03-3578-4915 へ お願いします。